

年末に多い交通事故

年の暮れが近づいてきました。年末にはふるさとへ帰られる方も多いと思います。今年になって、高速道路の利用料が大幅に割引されたことから、連休等には高速道路が渋滞になったというニュースが流れましたが、年末も渋滞が予測されます。計画的な運転を心がけるようにしたいものです。

さて、5月号では平成20年中の交通事故概要として京都府警察本部からの特集を掲載しました。近年減少傾向となっている交通事故ですが、月別ではどのようなようになっているのでしょうか。

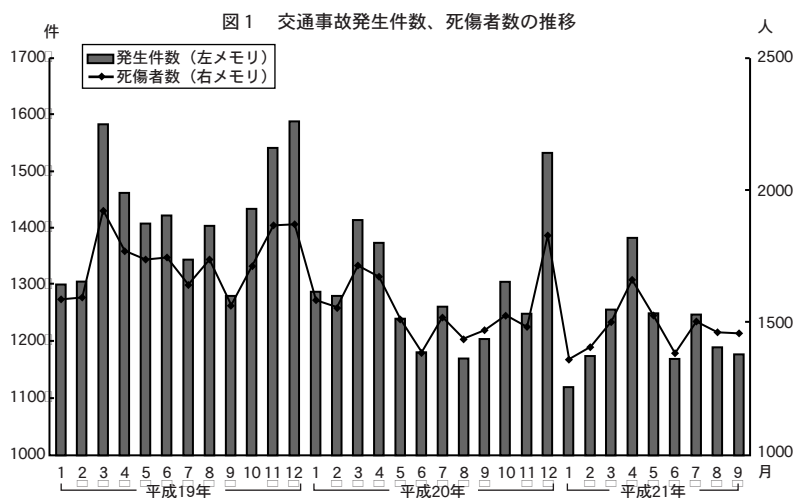


図1は、府内の平成19年からの月別交通事故発生件数と死傷者数です。発生件数、死傷者数ともに毎年12月に増えていることがわかります。3月から4月も多い傾向にあるようです。

それでは、交通事故が多く発生するのはいつでしょうか。図2は、昼間と夜間に分けた月別発生割合です。事故の半数以上は昼間に発生していることがわかります。しかし、夜間発生割合が7月では14%であるのに対し、12月は35%、1月は37%にまでなっています。

夜間とは、日没から日の出までを指しており、冬は夜が長いので発生割合も多くなっていますが、年末年始は慣れない場所での運転も影響しているのではないかと思います。日頃以上の気配りで運転し、事故のないようにしたいものです。

